



おいしい 美味しい おいしい お話

平成28年 12月



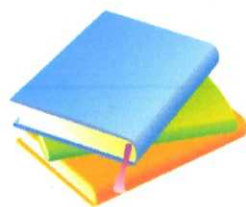
本の中に出てくる食べ物、
12/19(月)の給食に登場します。



こんだて
12/19の献立

ごはん、野菜スープ、
煮込みハンバーグ、
三食マッシュ、牛乳

紹介した本は
学校図書館で展示中。
借りられます！



ハンバーグ



『異世界駅舎の喫茶店』

Swind/宝島社

ハーパータウン駅のプラットホームにいた少女。どうやら乗り過ぎてしまったようです。すでに最終列車は出てしまい、途方に暮れていた少女・ナトルに、駅長代理のタクミは自宅に泊めることにしました。タクミが夕飯をどうするか考えていたときに、思いついたメニューがハンバーグでした。

あつあつで、とてもジューシーなハンバーグ。こんなに美味しい料理は食べたことがない！とナトルが言うと、これは喫茶店で出す料理の余りもので作ったもの、というタクミの言葉に驚きます。

タクミは“駅長代理”兼、改札口横にある待合室である“喫茶店『ツバメ』のマスター”です。食べられる食材を無駄にせず、美味しく料理をする、というのがタクミの考え方。ナトルはそれを聞き、どんな食材でも美味しい料理にし、食べる人を笑顔にできるタクミのような一流の料理人になろう、と決心しました。

この本に出てくる喫茶店『ツバメ』の料理は本当に美味しそうで、一度食べてみたくなります。そんな人に朗報です。巻末に、登場した一部の料理のレシピが掲載されています。著者のSwindさんが実際に作ってみたときのレシピだそうです。

大きな事件や謎が出てくる話ではありませんが、食いしん坊な人にとっては(おなか为空いてしまう!?)美味しい1冊となるでしょう。

野菜スープ



『松本智秋の「写真で綴る旅日記」 散歩とごはんのくり返し』(松本智秋/自由国民社)には、著者の松本さんが世界中を旅したときに撮った食事の写真と、その国の風景、人々の生活やお祭りなどが写真で紹介されています。

その中に、夜行列車でアルメニアに着いたとき、宿と間違っ入ってしまった普通の民家で、朝ごはんを出してもらおう、というハプニングが書いてあります。住人のおばさんが出してくれた野菜スープは、パセリやにんじん、ジャガイモが入っていて、とても美味しそう。その美味しさとおばさんの優しさに、身も心も温かくなったことでしょう。

この他に、同じアルメニアの(衝撃的な)ザリガニススープやブルガリアのチキンスープ、レバノンのレバノンスープなどの写真も載っています。どんな味が想像しながらページをめくってみませんか？